

審査意見への対応を記載した書類（9月）

資料目次

（資料 1-1） 3 ポリシーの関連図

### 【3 ポリシーの相関図】

#### <目標とする人材像>

- I. 絶え間なく変化し続ける時代を生き抜くために必要とされる力を身に付け、こうした力がどんなものであるか周囲の人々と考え、ともに身に付けようとする姿勢をもっている。
- II. こどもの発達という事象を通してこれからの地域や人間に求められる能力を不断に見つめ直し、こどもや周囲の人々と協力しながらよりよい社会や環境を創り出すため積極的に行動することができる。

#### ■ディプロマ・ポリシー (DP) : 卒業認定・学位授与の方針

建学の精神「**勇気・親和・愛・知性**」を基に、本学部の課程を修め、所定の単位の修得と必修等の条件を充たすとともに、以下の知識・能力・資質等を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与する。

##### <こどもや教育に対する基礎的理解>

1. こどもの生涯にわたる成長および発達、それに関わる保育と教育について原理的な知識と理解を修得している。

##### <教育に関する専門的理解>

2. こどもの教育に関する新しい展望と課題について様々な角度から学修し、教育学・保育学分野の専門的知識と技能を修得している。

##### <共生社会において

- 身に付けるべき**資質・能力**>
3. 誰もが積極的に社会参加・貢献できる社会構築に向けた課題を理解し、**多くの人々と協力してこれらの課題に適切に対処**できる技能を修得している。

##### <主題を立て自ら探究する学び>

4. 生涯にわたって自律的に学び続け、教育者として自ら成長していくためにテーマを設定し、課題を解決する探究的な学びを修得している。

#### ■カリキュラム・ポリシー (CP) : 教育課程編成の方針

建学の精神「**勇気・親和・愛・知性**」を基に、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力・技能等を身に付けさせるために、以下のような教育内容と教育方法に基づき、教育に対する基礎、教育に関する専門、共生社会における教養および自ら探究する学びを体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を実施する。

1. **こどもや教育について考えるのに不可欠な知識や原則**について学ぶ基礎的科目を配する。

##### <対応科目群>

教育原理、教職概論、学校運営と制度、障がいと教育、教育心理学、初等科課程編成論、ICTを活用した授業構築、肢体不自由児教育、こどもの理解と教育相談、こども家庭支援の心理学、保幼小連携論など

2. 教育や保育に関する専門的な理論と実践について学ぶ専門的科目を配する。

##### <対応科目群>

5領域・各教科概論・指導法、ボディパーカッション教育Ⅰ・Ⅱ、地域と学校、現代教員論、こどもの食と栄養、乳児保育Ⅰ・Ⅱ、障害児保育Ⅰ・Ⅱ、こどもの保健、こども家庭支援論など

3. **社会規範や人間の行動原理・多様性について学ぶ科目を配すると同時に、学修内容を応用する実習科目を配する。**

##### <対応科目群>

日本国憲法、人権教育概論、Society5.0の世界、消費者行動論、農園演習、国際理解、学級経営論Ⅰ・Ⅱ、生活の中のジェンダー、幼稚園・小学校・特別支援学校・保育所・施設等における実習など

4. 本学部(学科)での学びの集大成として、自らテーマを設定し卒業論文に取組み発表するための科目群を配する。

##### <対応科目群>

キャリア研究Ⅰ・Ⅱ、プレゼミナール、ゼミナールⅠ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ

#### ■アドミッション・ポリシー (AP) : 入学者受け入れの方針

本学部(学科)では、小学校教諭、特別支援学校教諭、幼稚園教諭、保育士等、多様な教育分野における専門的知識と技術を持った教育者を養成するために、以下に掲げる人材を求める。

1. 建学の精神(勇気・親和・愛・知性を基盤にした人格教育)に賛同する人。

2. 高等学校までに学習した全ての教科において、基礎学力を身につけている人。

3. 教育者になろうとする強い意志を持ち、積極的に学び、思考力・判断力・表現力を身につけようと努力する人(主体的意志・思考力・判断力・表現力)。

4. 豊かな感性・受容力・コミュニケーション能力を養い、地域を取り巻く教育に関心を持ち、こどもの健やかな成長を支援しようとする人(協調性)。